

5 さんじょういんさんもん 三乗院山門 まちしてい ぶんかざい けんぞうぶつ (町指定文化財～建造物) さんじょういん 三乗院

1860年宇都宮・後藤源治の手により、山門は本格的な切妻式瓦葺六脚門、柱の根巻金具は銅で作られた雌雄の唐獅子、細かな細工の建築物です。



6 げんとくくようせきとう 元徳供養石塔外 まちしてい ぶんかざい こうこしりょう (町指定文化財～考古資料) りょうぜんじ 霊山寺

阿弥陀さまを信じ、極楽浄土へ往生するという願いのつたわる石塔で、7基あります。元徳3年(1331年)に建てられた供養塔もあります。



7 りょうぜんひ 霊山碑 まちしてい ぶんかざい こうこしりょう (町指定文化財～考古資料) ひえじんじゃ 日枝神社

1817年、白河藩・松平定信が建てました。南朝の北畠顕家の忠節をたたえたものです。「霊山」が史跡としてはじめて紹介されました。



8 らんじょうかぐら 濫觴神楽 まちしてい ぶんかざい むけいみんぞく ぶんかざい (町指定文化財～無形民俗文化財) すずたけじんじゃ 鈴嶽神社

南北朝時代、幼い親王をなぐさめるため、北畠顕家が家来に刀を抜いておどらせたのがはじまり。後に戦勝祈願(いくさでてがらをあげる)に鈴嶽神社に奉納されたものが、今につたえられています。

